# ロータリー財団の補助金受領者のための
## 海外渡航に関するチェックリスト

このチェックリストは、ロータリー財団の補助金受領者が渡航準備をする際に役立てていただく目的で作成されたものです。リストには、渡航に必要なさまざまな事柄が挙げられていますが、これは渡航にかかわるすべての情報を網羅しているわけではなく、一部の補助金受領者には該当しない場合もあります。

### 旅行の手配と必要書類

☐ パスポートが、海外に渡航または滞在中、有効であることを確認する。有効なパスポートに関する母国と渡航国の要件を確かめる。パスポートを持っていない場合は、直ちに申請手続きを始める。

☐ 渡航国でのビザ、あるいは留学許可に関する要件を調べる。航空路に基づき、通過ビザが必要かどうかを確かめる。

☐ 受入国／活動実施国への最も安価な航空券を調べる。

- 最も安価な航空券を購入できるよう、複数の旅行会社に問い合わせて見積もりを取る。
- オンラインのportals.raptimusa.com/rotaryでは、割引価格で航空券の予約ができる（オプション）。
- 個人的な旅行はすべて、自己負担となることを念頭に入れておく。
- 補助金申請に対するロータリー財団からの承認を得る前に航空券の購入はできない点に留意する。
- 旅行予約を済ませた後、旅費のワークシートに記入して提出する。

☐ 紛失した場合に備えて、すべての重要書類（ビザ、パスポート、運転免許証、保険証など）のコピーを取っておく。コピーを一部、自国の誰かに預け、もう一部を旅行に持参する。旅行中は、パスポートやクレジットカードとは別の安全な場所にコピーを入れておく。

☐ 医療保険あるいは旅行保険について調べ、加入する。保険証のコピーを持参し、信頼できる人にコピーを渡しておく。

- 全保険の補償内容は、新地区補助金とグローバル補助金の授与と受諾の条件を最低限満たすものであることを確認する。旅行前に加入証明書をロータリー財団に提出しなければならない。
- 補償内容は、滞在するすべての国で有効であることを確認する。

☐ 旅行の計画に支障を来たすような変更がないかどうか、出発前に航空会社のウェブサイトを確認する。

☐ 旅行者は、国際線出発の3時間前まで、国内線出発の2時間前までに空港に到着するようにする。

☐ 空港では、受託手荷物一つ一つに対して手荷物合符を受け取り、正しい目的地が記載されていることを確認する。

## 医療／保健に関する準備

☐ 渡航するために、予防接種が必要かどうかを確認する。米国疾病対策センター（www.cdc.gov）や渡航国の旅行者用の医療機関などが提供している情報を参照する。

☐ 処方薬を使用している場合、受入国の領事館のウェブサイトで、その処方薬が受入国で合法的に購入できるかどうかを確認する。処方薬は薬局でもらった梱包のまま、手荷物に入れて持参する。

☐ 旅行中に健康問題が生じないよう、医師による健康診断を受けておく。

## 財務／予算

☐ 奨学金または補助金の申請時に承認された予算のコピーを入手する。

☐ 経費の記録と支払いがどのように行われるかについて、提唱者のロータリアンと話し合っておく。最低でも、75米ドル以上の認められている経費には領収書を提出しなければならないほか、提唱者が定める要件に従う。

☐ 受領した資金を効果的に管理するために予算を作成する。

☐ 受入国で利用できる銀行と通貨規制（該当する場合）について調べておく。旅行中は、30～50米ドル相当の現金とクレジットカード1枚を財布に入れておく。そのほかのクレジットカードや現金は、マ

ネー・ベルトなどを使って洋服の下に身に付けるようにする。

## 滞在先での活動の準備

☐ 受入地区でのロータリーの活動や奉仕活動の機会について調べる。

☐ 受入国のロータリアンとの連絡を保ち、活動予定を立てる。

☐ 食文化、適切な話題、不適切な身振り、治安など、受入国での文化的な違いについて調べる。

☐ 地元のロータリアンから援助を得て、ロータリーの歴史、構造、文化について学び、理解する。

☐ 補助金活動あるいは活動実施国で必要な語学力を身につける。

☐ 受入地域内にある適切な宿泊施設を調べる（安全を重視して宿泊先を選ぶ）。地元のロータリアンから定評のあるホテルを紹介してもらう。

☐ 到着後は、滞在先のホテルまたは地元のロータリアンから提供された交通手段を用いる。空港では、空港当局から認可されたタクシーのみを利用し、空港で声をかけてきた人に頼って交通手段の手配をしないようにする。

## 安全のための留意事項

☐ 外出の際は、ホテルの客室に現金や貴重品を置いていかない。客室に備えられた金庫を利用するか、フロントデスクに預けるようにする。

☐ 治安の不安定な場所へ旅行する際は、近辺の安全な避難場所（警察署、ホテル、病院など）を確認しておく。